

## 環境特集の発刊に際して

バリューチェーン本部長 高橋 宏明  
Hiroaki Takahashi



環境特集の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

気候変動を抑制し、地球環境の保全を進めていくため、2015年には、世界の国々が合意、新たな気候変動対策の枠組みとして“パリ協定”が採択されました。また、2017年度には、世界最大の機関投資家である日本の GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が、欧米を中心に拡大してきた、ESG(環境/社会/ガバナンス)投資を開始しました。持続的発展が可能な社会の実現のため、環境負荷低減や保全に対する社会の要求はますます増大しており、企業も社会の一員としての責任を果たすことが求められています。

三菱重工グループは、事業活動のすべての領域で環境への負荷の低減に努めるとともに、当グループが保有する様々な技術力を結集して環境を保全する製品を開発することにより、持続的発展が可能な社会の構築に貢献していくことを、環境基本方針として制定しグループを挙げて活動を推進しております。

事業活動ではグループ全体で統一した環境目標を設定、達成に向けた具体的な活動を展開しております。また、製品に対しても“環境を配慮した製品作り基本指針”を策定し、環境に配慮し持続可能な社会に貢献するためにライフサイクル全般にわたり当社が実施すべき事項を規定して開発に取り組んでおります。

本号では、当社グループの環境に対する取組みの一端として、三菱重工グループ自身の事業活動における環境への取組みと、環境負荷低減や、環境負荷を除去する製品・ソリューションについてご紹介いたします。

これからも環境活動に対し、さらに理解を深め、事業活動や製品開発において当社グループのプレゼンスを高めてまいります。